



令和8年
6月19日(金)
第11号

★夢から逆算した進路選択を★

今回は、学年目標であり、学年だよりのタイトルでもある「夢」について、2つ記したいと思います。

まずは進路についてです。第1回進路説明会や1学期期末考査が終わり、生徒の皆さんも進路選択について真剣に考えはじめていることと思います。まだ明確に進学したい上級学校は決まっていなくてもいいかもしれませんが、ぜひ夢から逆算した進路選択をしてほしいと願っています。

第3学年教員の池田は以下のような話をしていました。「中学生のころから、英語の教師になりたいという夢をもちました。教師になるためには、大学で教員免許を取得しなければいけません。高校に進学して、英語力を身につけたいと大学を調べていたところ、当時としては珍しい、英語コミュニケーションに特化した学科がある大学に進学することができました。

教育学部ではないので、教員免許を取るために、教職課程という授業を受けなければいけません。当然、周りの友人と比べても多くの授業を受ける必要がありました。しかし、夢のためなら、とがんばり、教員免許を取得することができました。

振り返ってみると、英語の教師になりたいという夢に近づくために、高校や大学を選択していたと思います。受験を控えた皆さんにも、ぜひ夢から逆算した進路選択をしてほしいです。」



★昨日の夢は、今日の希望、明日の現実★

先日、あるドラマを見ているときに「昨日の夢は、今日の希望であり、明日の現実である。」という言葉を知りました。これはロバート・ゴダードが残した言葉です。ゴダードは、現代の宇宙ロケットの基礎を作ったアメリカの科学者です。

当時、宇宙へ行くのは不可能だとされ、新聞に「高校生レベルの知識もない」と書かれ、みんなから笑われました。しかし彼は諦めず、それまで誰も成功していなかったガソリンなどの「液体燃料」を使ったロケットの研究に没頭します。

そして1926年、世界初の液体燃料ロケットを空へ飛ばすことに成功しました。わずか2.5秒、高さ12メートルの飛行でしたが、これが現代の宇宙開発の第一歩となったのです。

彼が亡くなった後に、人類は本当に月へ行きました。かつて彼を批判した新聞社は「私たちが間違っていた」とお詫びの記事を出したそうです。私は、彼の残した、「昨日の夢は、今日の希望であり、明日の現実である。」という言葉を知り、夢をもつことで、希望をもって日々の生活を送ることができ、努力を重ねればきっと実現するのだ、と解釈をしました。この言葉をどのように受け止めたか、ぜひご家庭でも話題にしてくれたら幸いです。

★来週の予定

日時	時程	予定
6月20日(土)		
6月21日(日)		
6月22日(月)	50分×6	生徒朝会 スクールカウンセラー勤務日
6月23日(火)	50分×5	2校時カット 心のふれあい相談員勤務日
6月24日(水)	50分×4	5校時カット 心のふれあい相談員勤務日
6月25日(木)	50分×6	巡回心理士勤務日
6月26日(金)	50分×6	1～5校時：領域診断テスト 6校時：修学旅行コース決め

※ ESAT-Jの申し込みは、7月2日(木)から9月16日(水)までです。
6月16日(火) ESAT-J保護者・生徒用申し込みマニュアルを配布しました。